

# Kawasaki **ZX-12R** Hyper Bank 〈取付説明書〉



## 《 おもな仕様 》

- ◆ シフト側・ブレーキ側ステッププレート
  - ◆ シフト側・ブレーキ側ポジションプレート
  - ◆ ブレーキカム、etc
  - ◆ シフト側・ブレーキ側ペダル、両側ペダルピン
  - ◆ 両側ステップバー、チェンジカム
  - ◆ 両側ペダルピン、可倒システム採用。
  - ◆ 6ポジション可変システム。
  - ◆ MFJレースレギュレーション対応ステップバー。
  - ◆ エクステンション用シフトロッド付属。
  - ◆ 逆チェンジ仕様に変更可能。
- アルミ（ジュラルミン）削り出し
  - アルミ（ジュラルミン）削り出し
  - アルミ（ジュラルミン）削り出し
  - アルミ（ジュラルミン）鍛造
  - アルミ（ジュラルミン）鍛造
  - ステンレス製

## 《 注意 !! 》

**取付作業をはじめる前に  
必ずお読みください**

## 《 Attention!! 》

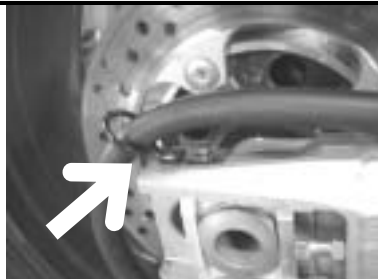
- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなど、が完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナットが緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等、によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず、ブレーキの利き・引きずり・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ等を確認してください。

◇ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているかパーツリストと照らし合わせて確認してください。

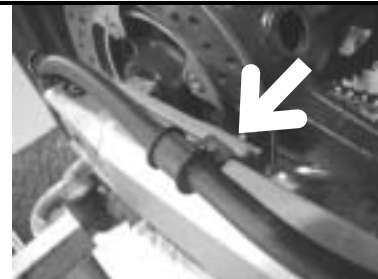
## RH (ブレーキ側) の取り付け

ノーマルステップを取り外す前に、リアブレーキホースを、スウィングアームに取り付けているクリップ(3ヶ所)のボルトのみを外しておく。

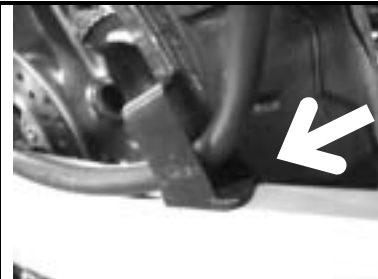
( 右図参照 )



スウィングアーム  
ブレーキ側 後端部



スウィングアーム  
ブレーキ側 中央部  
このみ、後で純正ボルトを使用します。



スウィングアーム  
ブレーキ側 前部

リアブレーキマスタシリンダーとブレーキランプスイッチをブレーキ側ノーマルステップから外し、その後にブレーキ側ノーマルステップを車体から取り外します。ブレーキランプスイッチを外す時は、マイナスドライバー等で引っ掛かりを少しずつ押込む様にして外してください。

ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、予めウェス等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアブレーキリザーバタンクを外しリザーバタンク側のホースを車体から外しておく。

このとき、リアブレーキリザーバタンクのフタが常に上を向いた状態にしておく。

(ブレーキオイル内に気泡が混ざるのを防止する為)

リザーバタンクのホースの取り回しを、

- A) リアブレーキホースの外側から、
- B) リアブレーキリザーバタンクのフタが常に上を向いた状態を保ったまま
- C) リアブレーキホースの下をくぐらせて車体側へ変更します。

### 下図参照の事

ホースが折れ曲がらない様に注意してください。リザーバホースとマスターシリンダーのジョイント部は可動しますので、ブレーキホースの下をくぐらせる様に車体側に移動させます。

変更前



変更後

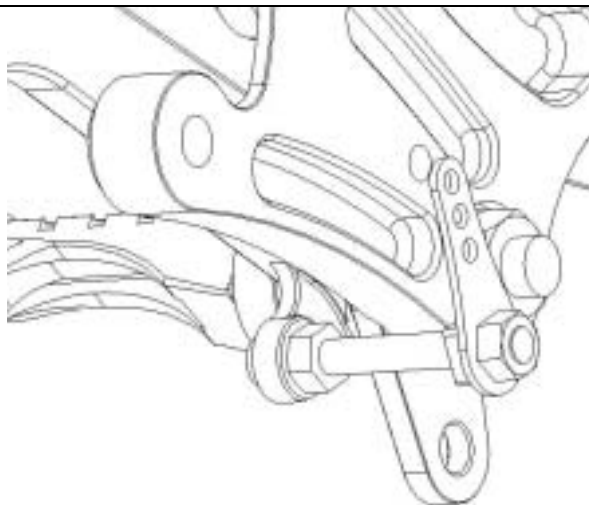


リザーバタンクのホースの取り回しを変更したら、リザーバタンクを、元の位置に取り付けなおす。

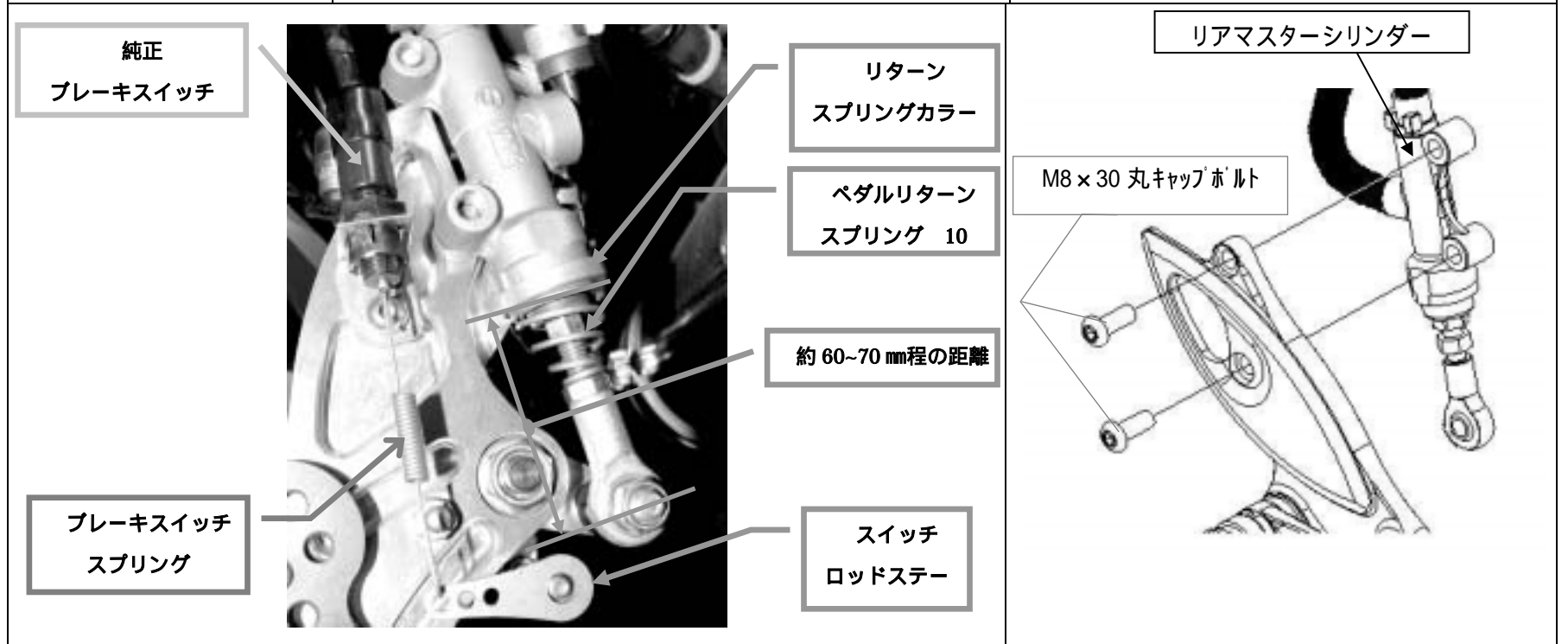
このときも、リアブレーキリザーバタンクのフタが常に上を向いた状態で作業をする。  
(ブレーキオイル内に気泡が混ざるのを防止する為)

ブレーキペダルのネジ部に M6×50 の 丸キャップを頭まで締め込み、裏からナットで締めます。そして、下図のように、スイッチロッドステーとナットを仮付けしておきます。

外しておいたブレーキランプスイッチを H/B ホルダーについているスイッチステーに、上から(下図の様に)パチンと鳴るまで押し込んで下さい。



<p>純正マスターシリンダーに弊社製品に付属の、リターン スプリング カラーとペダル リターン スプリング 10 を下図を参考に組立て、約 60~70 mm程の距離 (下図参照)をあけて純正 M8 アジャストナットを締めてピロボールを組付けます。</p>	<p>ブレーキスイッチスプリングの長さに合わせて、スイッチロッドの傾きを下図を参考にセットし、傾きが決まってから <u>スイッチロッド側のナットを仮締めします。</u></p>	<p>マスターシリンダーを、ステップホルダーの裏側から下図の様に取り付け、付属の丸キャップボルト (M8×30)を、ステップホルダーに通し、マスター側のネジに<u>仮止めする。</u></p>
	<p>ブレーキスイッチスプリングをスイッチの先の穴に引っ掛け、ラジオペンチなどを使って軽く下に引っ張り、スイッチロッド ステアの外側の穴に引っ掛けます。</p>	
	<p>ブレーキスイッチの調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>スイッチロッドステアを丸キャップM6×50ボルトのネジの先から 4-5 mmの所 (Uナットで締めれる位置) までロッドステアを回します。</u></li> <li>➢ <u>ロッドステアの角度を、スイッチスプリングが遊ばない程度のクリアランスに調節します。</u></li> <li>➢ <u>スイッチロッドステア側の M6U ナットを本締めして下さい。</u></li> </ul>	



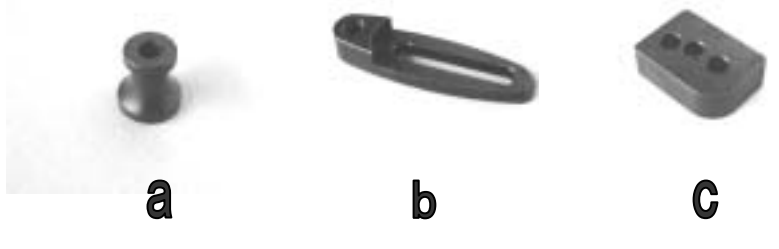

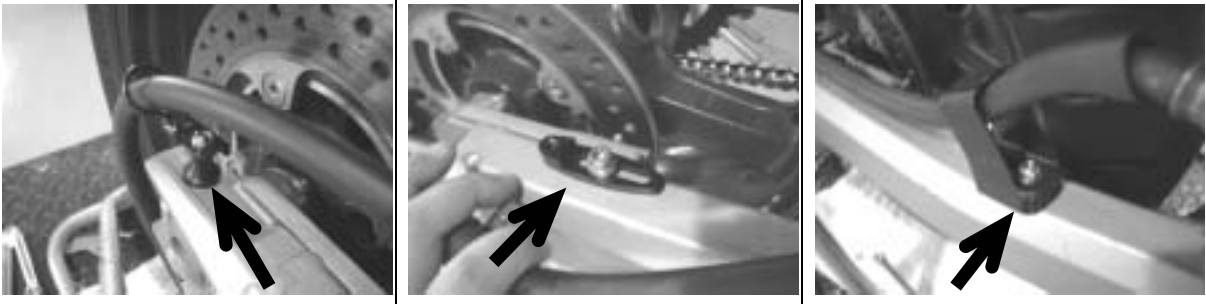
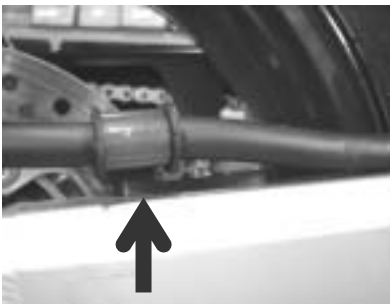
右側ポジションプレートを皿キャップボルト M8×20 で、車体側に取り付け、本締めしておきます。

<p>ブレーキペダルを動かし、マスターシリンダーのピロボールの穴とブレーキカム穴を合わせて、カムとピロボールの間にカラーを入れてM8×45の丸キャップボルトを差し込んでM8ロックナットで仮締めします。</p> <p>右図参照</p>		<p>ブレーキ側ホルダーを右側のポジションプレートに取り付けて、キャップボルト M8×20 で本締めします。</p> <p>必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。最初に取り付けるポジションは前から2つめ、下から2つめの所に付けることをお奨めします。他のポジションに取り付ける場合は、スイッチロッドステアの角度等を合わせてからホルダーを移動するほうが、各部の調整がし易くなります。</p>
--	--	---

<p>ブレーキペダルの角度を、マスターシリンダー側のロッド (右上図 A)を回して調節します。</p> <p>角度が決まったらロッドに付いている純正のナット (右上図 B)をピロボール側に締めてロックします。</p>	<p>純正ブレーキスイッチのアジャストナットを回して、スイッチスプリングが遊ばない程度のクリアランスにして再度調節して下さい。</p> <p>このときブレーキランプの点灯するタイミングを見ながら調整して下さい。</p>	<p>ペダルの角度、スイッチの調整、ピロボールの角度や取り付けがおかしくないかを確認してから、マスターシリンダーを仮止めしている丸キャップボルト M8×30 を本締めして下さい。</p>	<p>ブレーキカムとピロボールを仮締めしている丸キャップボルト M8×45 を本締めする。</p>
--	---	---	---

HyperBank ブレーキ側本体の取り付けが終了したら、最初に外しておいたリアブレーキホースの取りまわしをします。

## リアブレーキホースの取りまわし

リアブレーキホースの取り回しの部品（右の写真の3点）と中央部のブレーキホースクリップを止めていた <u>純正六角ボルト</u> を使用します。 <u>その他の使用部品は下記参照</u>			 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span><b>a</b></span> <span><b>b</b></span> <span><b>c</b></span> </div>			
<b>a) オフセットガー</b>	<b>b) スライドステー</b>	<b>c) オフセットブロック</b>				
丸キャップボルト M6×30 (一本)	キャップボルト M6×20 (一本) 純正六角ボルト (一本) M6 平ワッシャ (一枚) M6 スプリングワッシャ (一枚)	キャップボルト M6×20 (一本) M6 平ワッシャ (一枚)				
純正のブレーキホースクリップは右図の様に着いています。  取り付け作業の最初に取り外し済み。						
ブレーキホース用のオフセット部品は、スイングアーム後端部から順番に取り付けてください。  一番後ろのクリップは少し外側にずらしてディスクローターに当たらないように工夫して下さい。 中央のスライドステーもネジ穴側を少し外側にずらしてディスクローターに当たらないように工夫して下さい。	↓	a) 一番後端のクリップはオフセットガーで上にオフセットさせ、丸キャップボルト M6×30 で本締めする。	↓	b) 中央部のクリップは平ワッシャ・スプリングワッシャ・丸キャップボルト M6×20 の順に長穴に差し込み仮締めする。	↓	c) 一番前のガードはスイングアームとの間に、オフセットブロックをピン側を下向きに挟んで M6×20 と平ワッシャで本締めする。
						
中央部のホースクリップを純正 M6 六角フランジボルトでスライドステーのネジ穴に固定する。  <b>右図参照</b>						
			スライドステーを止めていたキャップボルトを少し緩めて、 <u>ブレーキホースが折れ曲がらないような位置を決めたらキャップボルトを本締めする。</u>  必ず最後に、ブレーキホースが回転部分（ブレーキディスクローター・ホイール・タイヤ等）に接触したりしないかを、車輪を回して確認して下さい。			

## LH (チェンジ側) の取り付け

チェンジ側ノーマルステップの純正チェンジカムを止めて、  
純正 M6 六角ボルトを緩めてエンジン側から外します。  
ノーマルステップを車体に固定しているボルトを外しノーマルステップを車体から外します。

純正チェンジカムを止めている、純正 M6 六角ボルトは後で使用  
します。

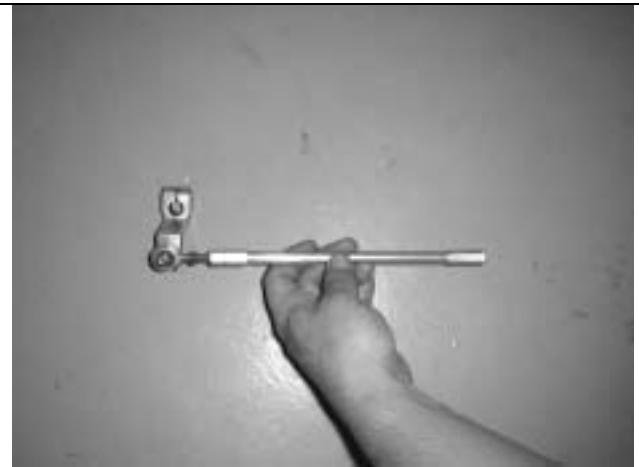


左側ポジションプレートを皿キャップボルト M8×20 で、  
車体側に取り付け、本締めしておきます。



チェンジ側ホルダーを左側のポジションプレートに取り付けて、  
キャップボルト M8×20 で本締めします。  
必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ  
両側のポジションが同じである事を確認して下さい。  
最初に取り付けるポジションは 前から2つめ、下から2つめの  
所に付けることをお奨めします。

付属のチェンジカム (製品はブラックアルマイト) に着いている  
ピロボールに、アルミチェンジロッド (製品はブラックアルマイ  
ト) を 1 ~ 2 山程ネジをかけます。 (下図)



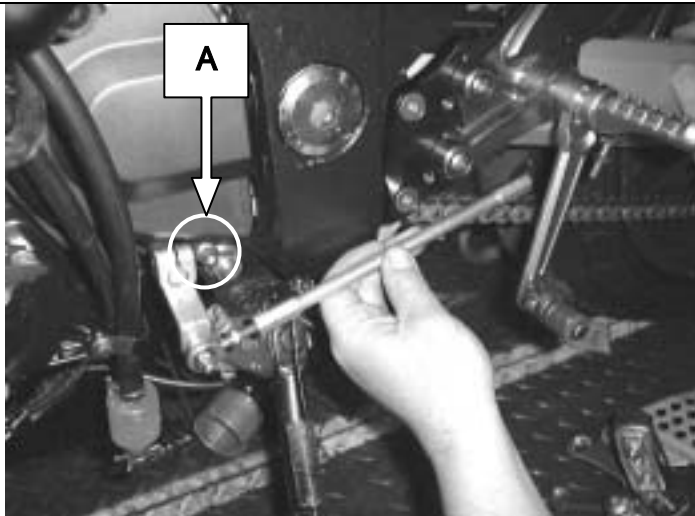
付属のチェンジカム (製品はブラックアルマイト) を下図の様に  
取り付け、前側から純正 M6 六角ボルトで仮締めします。

逆シフトチェンジを選ぶ場合は、ドライブsproケットカバーの  
固定ボルトの一つ (下図 A) を外します。  
チェンジカムを 180 度回して下向きに取り付け、付属の逆チェン  
ジ用丸キャップボルト M6×20 で止めます。  
ドライブsproケットカバーの固定ボルトを締め直します。

ペダル側チェンジカムのピロボールに、アルミチェンジロッドを  
1 ~ 2 山程ネジをかけます。 (下図)

チェンジペダルの垂れ角を、アルミチェンジロッドを回してお好  
みに調整して、ペダル位置が決まったらそれぞれの M6 ジャミナ  
ットを閉めてロックしてください。

シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。



ブレーキ側の取り付けを確認して各部の増し締めをして下さい。

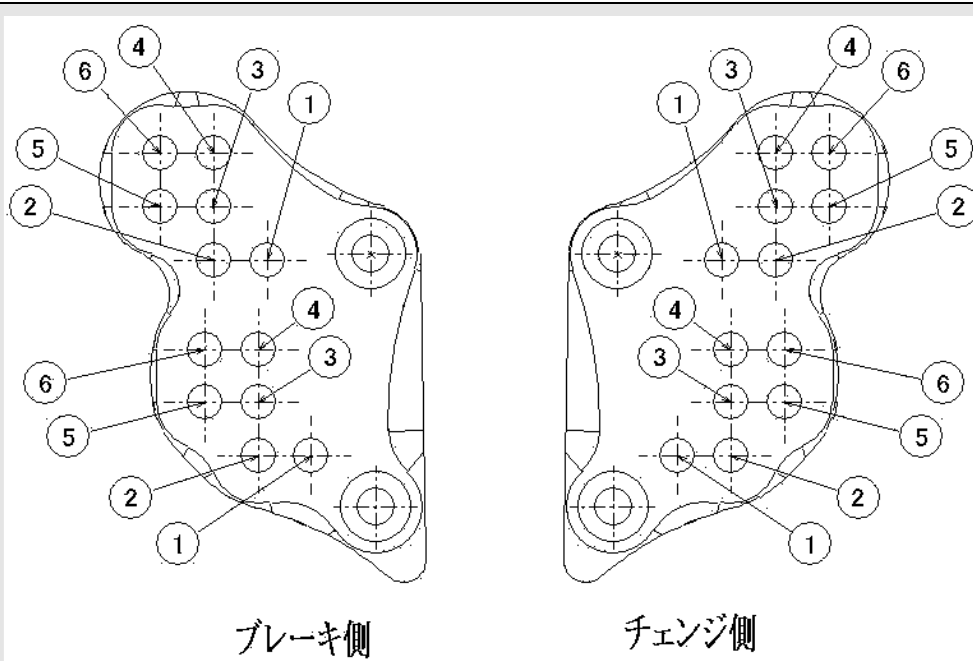


チェンジ側の取り付けを確認して各部の増し締めをして下さい。



### ポジションチェンジについて

BACK	UP
1.7mm	8.5 mm
13.7 mm	8.5 mm
13.7 mm	20.5 mm
13.7 mm	32.5 mm
25.7mm	20.5mm
25.7mm	32.5mm



- ・ のポジションを選択する場合は逆チェンジ用ピロボール KF-L6( パーツ見出し 20 )につけ換えて下さい。
- ・ のポジションを選択した場合、チェンジロッドにステンレス製のエクステンションロッド( パーツ見出し 19 )を継ぎ足して下さい。

左の表の値はノーマルステップから割り出した目安の値です

### 》 注意点 《

- ◇ 弊社の製品、NASSERT R Max / Max38 (レース仕様), NASSERT-i PLUS (JMCA仕様)を取り付けた場合、上のポジション表の と のポジションが選択出来ませんので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能ですが極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ マフラーによって、選択できないポジションが有りますので御了承下さい。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを軽く増し締めすることをお奨めします。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL.072 (257) 7600  
FAX.072 (259) 6600

(株) 日本ビート工業

まで

- ホームページ URL  
<http://www.beet.co.jp/>
- 商品関連 e-mail アドレス  
[sales@beet.co.jp](mailto:sales@beet.co.jp)
- 技術関連 e-mail アドレス  
[support@beet.co.jp](mailto:support@beet.co.jp)

# BEET JAPAN

ホームページを開設しました。  
左記 URL にてご覧下さい。